

## ■ 3年生 自分の土器が完成しました

3年生は夏休み前に作製し乾燥させていた土器を野焼きにして、土器を完成させました。薪を燃やし800℃の熱さにすること、いきなり高温で焼くのではなく時間をかけて焼く「あぶり」という工程が大切であること、粘土に含まれている鉄分が錆びて赤くなることなどを教わりました。「焼いているときは熱かったけれど完成して良かった。」「水やジュースを入れて飲んでみたい。」などの感想がありました。今回も市郷土資料館学芸員の佐藤さんはじめ、「江別土器の会」の方々のご協力を得て行うことができました。ありがとうございました！来週の社会見学には市内の煉瓦工場にも出かけ、さらに学習を深める予定です。





